

2022年春期(第170回)講演大会記録

2022年春期講演大会は、3月15日(火)から17日(木)、22日(火)にオンライン(Zoom)で開催した。

- 3月15日(火) 9:30~9:35 開催の辞
9:40~10:40 第67回学会賞受賞記念講演
10:50~11:50 第67回本多記念講演
12:20~12:50 第13回技術セミナー
13:00~17:20 一般講演、各種シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション
18:30~20:30 懇親会(オンライン)
- 3月16日(水) 9:00~17:20 一般講演、各種シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション
- 3月17日(木) 9:00~17:30 一般講演、各種シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、学生キャリアサポートセミナー
- 3月22日(金) 10:00~17:00 第38回ポスターセッション、第7回高校生・高専学生ポスターセッション
17:00~18:00 高校生ポスター指導教員交流会
- 常時開設 オンライン展示会、技術セミナー(動画版)、学生キャリアサポートセミナー(動画版)

開会の辞(3月15日)

中野貴由会長より春期講演大会オンライン開催にあたっての挨拶があった。

第67回学会賞受賞記念講演(3月15日)

「材料数理学としてのクラスター変分法」

北海道大学名誉教授・JST シニアフェロー 毛利哲夫 君

第67回本多記念講演(3月15日)

「永久磁石の高性能化にみる複合組織制御」

東北大学大学院工学研究科教授 杉本 諭 君

贈呈式 オンライン開催のため下記授賞の贈呈式は開催せず、開会の辞の前後に受賞者氏名をスライドで表示した。

- 第67回学会賞 1名(受賞者;本誌249頁)
第63回技術賞 4名(受賞者;本誌250頁)
第28回増本量賞 1名(受賞者;本誌250頁)
第61回谷川・ハリス賞 2名(受賞者;本誌251頁)
第80回功績賞 5名(学術部門5名)(受賞者;本誌252頁)
第53回研究技能功労賞 14名(受賞者;本誌253頁)
第72回金属組織写真賞 最優秀賞1件、優秀賞2件(受賞者;本誌255頁)
名誉員推戴者 2名(受賞者;本誌257頁)
第5回フェロー認定者 1名(受賞者;本誌258頁)

大会参加者

1,227名(一般644名 学生329名 非会員40名(一般26名 学生14名)、維持員会社社員38名、協賛学協会参加者8名、名

誉員・65歳以上69名、受賞講演者12名、非会員基調講演者・招待講演者20名、高校生ポスター参加者49名、オンライン展示企業・技術セミナー・学生キャリアサポートセミナー企業18名)

※オンライン開催のため日本鉄鋼協会との相互聴講は実施しなかった。

※2020年秋期講演大会より開催当年3月1日時点で65歳の会員は参加費無料とした。

学術講演会(3月15日~17日, 22日)

最終講演件数685件

欠講1件(講演番号:高校生ポスター HSP18)

第67回学会賞受賞記念講演1題

第67回本多記念講演1題

公募シンポジウム講演9テーマ167題

企画シンポジウム2テーマ 15題

一般講演356題(功績賞受賞記念講演5題, 谷川・ハリス賞受賞講演2題, 増本量賞受賞記念講演1題, 技術賞受賞記念講演4題, 招待講演1題含む)

共同セッション10題

ポスターセッション88題

高校生ポスター 47題

講演会場 15会場(A~O会場)

第38回ポスターセッション(3月22日)

第1部 10:00~11:30

第2部 13:00~14:30

88件のポスター発表を2部制の時間帯に分けて行い、優秀ポスター賞審査対象となっている82件の内容・発表についてオンラインにより審査が行われた。ポスターは事前に発表者から提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載し、当日はポスターの閲覧をし、各講演ルームへ訪れた聴講者に発表を行った。

3月23日「優秀ポスター賞」17名が決定し、3月23日に受賞者を本会春期講演大会公開サイトに掲載した。(本誌258頁)

第7回高校生ポスターセッション(3月22日)

前半14:45~15:45

後半16:00~17:00

47件の高校生・高専学生(3年生以下)ポスター発表は同時に審査も行われた。審査結果は3月23日に最優秀賞1件、優秀賞19件が決定し、3月23日に受賞者を本会春期講演大会公開サイトに掲載した。(本誌260頁)

ポスターセッションと同様、事前に発表者から提出されたポスター画像をポスター掲示システム上に掲載した。熱心に取り組んだ研究内容の発表がなされ、審査員や聴講者は興味深く質疑する様子が見受けられた。発表した学生は大学教員等からのアドバイスを熱心に聞き、今後の研究の視野が広がったと喜ぶ姿が見受けられた。他校の発表を聴講する高校生発表者もあり、高校生同士の交流も行われていた。また、今回も指導教員との交流会を実施し、情報交

換の場を設けた。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」9題(金属3題, 鉄鋼6題)は3月17日に金属学会F会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」2題(金属2題, 鉄鋼0題)は3月15日に金属学会O会場で開催した。

「高温溶融体の物理化学的性質」12題(金属5題, 鉄鋼7題)は3月16日に鉄鋼協会会場1(オンライン会議ツールWebex 利用)で開催した。

オンライン機器・カタログ等展示会(第51回)

機器展示5社の出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。

第13回技術セミナー(現地開催時の名称:企業ランチョンセミナー)(3月15日および動画)

講演大会参加者に最新の技術情報を聴講してもらう企業セミナーを開催した。

以下の企業・団体がオンライン会場または動画にて30分程度のセミナーを行った。

3月15日(火)

- ・マルバーン・パナリティカル スペクトリス㈱
動画版
- ・オックスフォード・インストゥルメンツ㈱

オンライン学生キャリアサポートセミナー(3月17日および動画)

企業が学生会員に向けて、会社概要、今後の採用情報、インターンシップ募集情報、研究開発動向等を紹介する企画を実施した。以下の企業が動画またはオンライン会場で30分程度のオンライン説明会を行った。参加学生は熱心に聴講していた。

- 曙ブレーキ工業㈱
- ㈱UACJ
- 合同製鉄㈱
- 日立金属㈱
- 東邦チタニウム(動画版)
- 住友金属鉱山(動画版)

懇親会

当初予定していなかった懇親会をバーチャルオフィスアプリoViceを用いて開催した。38名の参加があった。

大会雑記

本来は東京大学駒場キャンパスでの春期講演大会開催であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2022年春期講演大会もオンライン会議ツールZoomを利用したオンライン形式での開催となった。ポスター発表は、オンライン上でポスターを閲覧し、聴講したいポスター発表があれば、各発表のZoom会場へ入室し聴講および質疑応答を行えるシステムを利用した。

講演大会二日目の3月16日夜に福島県沖震源のマグニチュード7.3の地震があり、金属学会事務局所在地の宮城県も最大震度6強の大きな揺れがあった。幸いに通信や電気が止まることがなかったため、通常通りオンラインで講演大会を続行することができた。地震による講演の欠講はなかった。

2022年春期講演大会オンライン開催にあたり、座長、会場系の皆様、また参加者の皆様には事前のマニュアル確認や事前操作テストなど万全な準備を行いご参加くださり誠にありがとうございました。また座長の皆様には地震発生後の講演変更等について臨機応変にご対応頂き無事に開催できましたこと、衷心より厚くお礼申し上げます。